



福島大池の ヒメハジロは、 オスだった

鳥信係

「福島大池のヒメハジロはオスだった」との連絡を、支部会員のOさんからいただきました。「3月末に撮影されたヒメハジロの羽衣が発見当初とだいぶ違ってきている、よく調べるとオスの第一回冬羽ではとの意見がいくつかのブログで交わされている」とのことでした。

支部鳥信係でも調べ直すことにしました。

さっそく現地に出かけ、実物をこの目で見なくてはと思いましたが、残念ながら4月に入ってすぐに当のヒメハジロはすでに渡去したようで、変身しかけているという姿を観察することができなくなりました。

しかし、幸いに支部会員の中田一真さんから3月28日に撮影された写真(写真-1)を提供していただき、松重和太さん撮影の発見当初の写真(写真-2)と中田さん撮影の写真を比較すると確かに変化があるようです。

日本の図鑑を見ても雌のような個体で頭側部の白斑が広がったものはありませんでした。しかし本来の生息地である北米の図鑑、「Birds of North America」には第一回冬羽として描かれていました。てっきり♀とっていた個体でしたが、第一回冬羽??なぜ今頃羽衣の変化が??疑問がわくばかりです。

支部事務所に今まであまり開いた事のない立派な図鑑があります。その山階芳磨著「雁と鴨」を見ると、「ヒメハジロ♂の第一回冬羽は、10月から1, 2月は♀と変わりがなく、3月から5月にかけて成羽が局部的に生じ、その完成は2年目の12月頃」、「中雨覆羽は第一回夏羽になっても完全に白くなく大変不規則」と福島大池の個体を示すような記述がありました。

さらに、英和辞典を片手にカモ専門の図鑑、「WATERFOWL」も読んでみても、第一回冬羽の後期から換羽し第2回冬羽で成羽になると書いているようです。



【写真-1】 3月28日：中田一真



【写真-2】 2月4日：松重和太

これらの事を踏まえて、改めて中田さんの写真を見ると、頬の白斑以外に眼後方にも換羽が始まり、白い羽が始めてきているようで、♂の特徴である頭側部の扇型の白斑になりそうな想像がつかます。

また、尾崎由紀さんから提供していただいた、羽ばたいている写真は翼の状態がよくわかります、それを見ると、♀の翼上面の特徴である次列風切内側の白斑と内側大雨覆羽の先端の白斑だけでなく、他の大雨覆羽や中雨覆羽にも光線の加減と思えない白っぽい羽が見え、ここも換羽が始まっているようで、さらに換羽が進んだ後、♂成鳥の特徴である翼上面の大きな白斑に広がって行きそうです。また、胸の白さもはっきりしはじめているようです。

これらの事から、福島大池で確認されたヒメハジロは雌ではなく♂の第一回冬羽だと訂正したいと思います。

ちなみにホオジロガモやアイサ類もヒメハジロと同じように、第一回冬羽の後期になって、換羽が始まるとのことです。ヒメハジロはめったに観察の機会がありませんが、ホオジロガモやアイサ類なら身近なフ

ィールドで観察できます。今年の冬から、ホオジロガモやアイサ類の換羽をテーマに観察するのも面白いかもしれませんね。

今回のことで、一部のカモに特殊な換羽があることを知ることができました。それと同時に私たちが持っている知識の浅いこと、種の判定や雌雄、年齢の判定には慎重さとより深い知見が必要であると改めて知らされました。

今冬、ヒメハジロがどのような姿になって再来するか非常に楽しみです。



【写真-3】2月7日：尾崎由紀



2009年度 兵庫県支部総会のご案内

定期総会は年に1度開催し、2008年度の活動報告と会計報告、2009年度の活動計画（案）と予算（案）の審議、新役員の選出を行います。また、会員の皆様のご意見をいただき、支部活動に反映していく機会ですので、ぜひご参加ください。

なお、総会終了後、「アース」DVD上映会及び親睦会を行います。

- 開催日時：2009年6月7日（日） 13：00より
- 場 所：日本野鳥の会兵庫県支部事務所
（JR神戸駅北 バスターミナル西 武田ビル2F）

* 総会に出席できない方は、探鳥会参加の折に委任状を提出していただくか、ファックス・メールなどで支部に委任状を提出をお願いします。